

ブッポウソウ

Eurystomus orientalis (Linnaeus)

ブッポウソウ目ブッポウソウ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧ⅠB類

選定理由

ブナ林など発達した森林に生息する種であり、個体数が少ない。近年減少している。

形態

全長約30cm。全身青みがかった緑色、頭部は黒色味が強い。足、嘴は赤。風切羽には白斑があり、飛翔時に目立つ。

国内分布

夏鳥として本州、四国、九州の発達した森林に渡来するが、分布は極めて局地的である。

県内分布

夏鳥として山地帯の発達した森林に渡来する。渡りの季節には県内各地の山地で、時折目撃されることがある。

生態

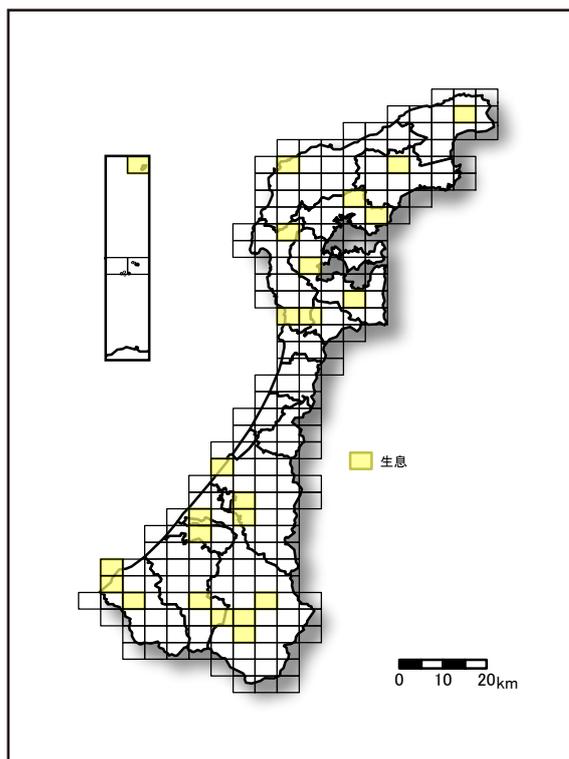
大型昆虫を主食とし、高木にとまってフライキャッチを行う。5～7月が繁殖期で、大木の樹洞などで営巣し3～4個の卵を産む。抱卵期間は22～23日、育雛期間は約4週間。近年の研究ではキツキ類やムササビの古巣を多用することがわかっている。巣箱も利用することが知られる。

生息地の条件

営巣木となる大木と、巣穴の提供者となるムササビ、キツキ類の存在。

生存の危機

営巣木の伐採と巣穴提供者の減少。餌となる大型昆虫の減少。(A)



県内の分布